

三浦 義光 議員 政新会



問 JR・名鉄北口駅前広場計画は

答 スケジュール通り協議を進める

問 JR・名鉄弥富駅北口駅前広場計画の進捗について以下を問う。

問 用地取得の進捗は。

答 (建設部長) 来年度の土地売買と物件移転補償契約を調整中。

問 JA弥富支店前の駅前広場に通ずる、①市道日毛気開線の今後は。

答 北口駅前広場と自由通路、駐輪場の整備で近鉄利用者を含め北口に呼び込み、東西踏切の交通量が減少。

問 広場内に整備予定の駐輪場の考えは。

答 関係機関と調整中。

問 ②日毛気開線入口駐輪場の今後は。

答 当面は現状を維持する。

問 ③北口エレベーターの下にあたる市街化水路の変更計画は。

答 仮排水管を北口駅前広場用地内に通して排水。

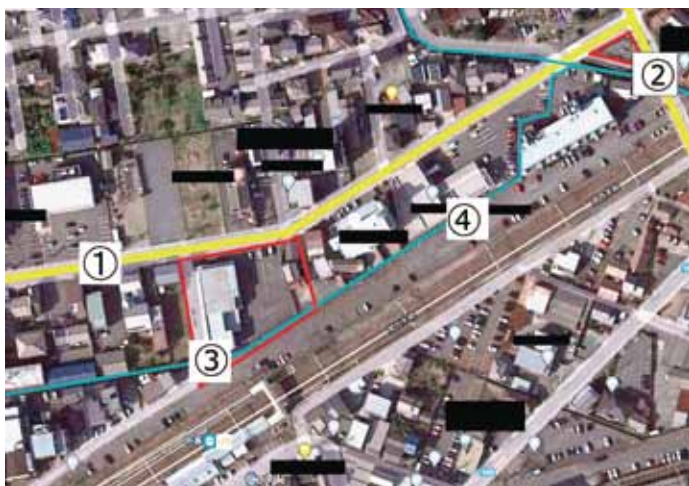
問 ④民間駐車場に沿った東西水路の除草整備は。

答 水路敷地は、民間会社から無料で貸借。民間会社と除草を協議。

問 市長総括を。

答 (市長) 近鉄とJRの間の弥富駅周辺まちづくりを進める。自由通路により東

西踏切の通行者減少に繋げる。自由通路を自転車を押して通行できるようにする。



▲JR弥富駅北側の航空写真 (Google map引用)

問 車新田地区 まちづくりの今後は

答 11月に 発起人会を結成

問 (仮称) 弥富車新田土地区画整理事業の地権者説明会からの進捗は。

答 (建設部長) 市街化区域編入のための資料作成。

土地所有者による発起人会の結成。

土地区画整理事業の仮同意書の収集を予定。



▲車新田地区

問 令和4年度から開始予定の木曾川用水濃尾第二施設改築事業を見越して、車新田地区の今後の対応は。

答 (農政課長) 経年劣化したパイプラインの更新を、現状と同等の通水能力を確保し行う。車新田土地区画整理事業の進捗と合わせ、調整して手戻りのないよう進める。

※機能低下した農水管などの施設改築を、水資源機構が行う事業。